地域が輝く！
女性活躍事例集

宇都宮市　総合政策部　女性活躍推進課
令和７年6月発行

はじめに

人口減少や少子超高齢化の進展，人々の価値観の変化など，私たちを取り巻く社会環境が大きく変化し，私たちの身近な暮らしの場である地域において，地域活動団体の担い手不足などによる地域活力が低下し，近隣との関係や世代間交流といった地域コミュニティが希薄化する中，将来にわたって活力あるまちを維持していくため，男女がともに地域活動に参画することの重要性が高まっています。

こうしたことから，本市におきましては，各地区のまちづくり協議会等における「女性の視点を取り入れた取組」や「女性の担い手の育成」，「女性リーダーの登用」など，女性活躍の特徴的な取組をまとめました。

地域の皆様におかれましては，女性が活躍できる地域づくりの参考としていただければ幸いです。

総合政策部女性活躍推進課

女性の参画により期待される効果

1　これまで気づかなかった新しい視点や発想につながり，
地域の実情やニーズにきめ細やかに対応することができます。
2　きめ細かなコミュニケーションと調整により，
多様な活動主体とのネットワーク構築につながります。
3　取組の蓄積や人材育成が図られることで，人々の意識と
行動が変わり，更なる活動の展開へと波及することが期待
できます。

取組の進め方

地域における女性の参画を効果的に進める方法として，以下の４つのステップを参考にしていただき，地域の実情に合わせて取り入れてください。

その１　現状把握

地域活動における女性の参加状況やどのような団体で女性が活躍しているか把握しましょう。

- □　各団体の男女の構成人数を把握していますか。
- □　地域のイベントや団体活動等において，性別による役割分担をしないようにしていますか。
- □　地域や団体で活躍している女性の情報を把握していますか。

その２　意識啓発

ワークショップやセミナー，地域の集まりなどで女性活躍の重要性について話し合いましょう。

- □　地域活動に女性が参画する重要性について意見交換や話し合いを行っていますか。
- □　女性の人材育成に向けて，女性自身が意識を高め，行動を起こしていくための研修や交流会を実施していますか。

その３　女性が活躍しやすい環境づくり

女性の参加や活動が少ない団体においては，女性を呼び込む工夫や，女性役員を増やすことについて話し合いましょう。

- □　女性や子育て家庭が活動に参加しやすい時間や場所になっていますか。
- □　地域活動の課題解決に向けて，男女双方の意見を吸い上げるためのアンケートなどを実施していますか。
- □　地域の意思決定の場に女性が参画していますか。

その４　女性のネットワークを生かした更なる活動の展開

女性のネットワークを生かして地域内外の団体や組織と連携し，活動の発展につなげていきましょう。

- □　女性が活躍している情報を地域や団体で共有していますか。
- □　女性のネットワークを生かして多様な団体との連携につなげていますか。
- □　活動を通してリーダー的な役割を担える女性人材を掘り起こし育成するなど，更なる活動の発展につなげていますか。

事例紹介
～女性が活躍する地域の事例～

今回は，各地区市民センター・市民活動センターを通じてヒアリングを行い，地域で女性が活躍する事例を紹介します。

目　次

地区名	団体名	事例
平石地区（5 頁）	平石地区まちづくり協議会	地域活性化の取組～「平石塾」の女性活躍～
清原地区（6 頁）	清原地域振興協議会	まちづくりのために女性や幅広い年代の人材を取り入れる！
横川地区（7 頁）	横川地区子どもとふれあう会	女性が中心となり地域の子ども達の健全育成に取り組む
瑞穂野地区(8 頁)	生涯学習センタークラブ友の会	女性が活動するサークル団体が積極的に地域活動に参画！
城山地区（9 頁）	城山地区連合自治会	女性の意見をまちづくりに取り入れるため 「まちづくり女子会“城山ティーパーティー”」を開催
国本地区（10 頁）	国本地区社会福祉協議会	デジタル活用で文書発送の手間・経費削減につながる ～女性会長の課題認識がきっかけ～
富屋地区（11 頁）	と・くじら♡らぶ	生涯学習講座から女性団体が誕生 「と・くじら♡らぶ」！
豊郷地区（12 頁）	NPO 法人うつのみやオリーブ	地域の課題解決に向けて，NPO 法人の女性理事長が活躍！
篠井地区（13 頁）	こすもす会	地域の福祉団体と連携しながら，お弁当を届けて一人暮らしの高齢者の暮らしを守ります！
姿川地区（14 頁）	姿川地区まちづくり協議会	女性リーダーが大学生と地域をつなぎ， 地区の魅力を掘り起こし！
雀宮地区（15 頁）	NPO 法人雀宮まちづくりプロジェクト	「子ども食堂」は親子の居場所だけでなく， 女性が参加しやすいネットワークづくりに！
上河内地区(16 頁)	上河内健康づくり推進協議会	女性のアイデアで地域の特産品「ゆず」を使って魅力発信！
河内地区（17 頁）	河内地区まちづくり協議会	まちづくり協議会の女性副会長が立ち上げた 「学生ボランティア」が地域で活躍！
西地区（18 頁）	西地区連合自治会 西地区民生委員児童委員協議会 西地区社会福祉協議会	女性会長の働きかけで災害時の共助力がアップ！
陽東地区（19 頁）	東峰西自治会	まちづくり論を学んだ女性の提案から空き家が公民館に ～公民館「とみくら　みんなのリビング」～
明保地区（20 頁）	こども食堂　キッチンもぐもぐ	地域における居場所づくり ～こども食堂　キッチンもぐもぐ～
陽光地区（21 頁）	陽光地区まちづくり推進協議会	地域ビジョン策定には「男女双方の意見が必要」！
戸祭地区（22 頁）	戸祭地区女性防火クラブ	地域活動に新たな風を吹き込む 仕事と家庭＋地域活動の両立に取り組む 女性会長
資料編（23 頁）	・地区ごとの女性自治会長の人数 ・地域まちづくり組織の構成団体中「女性が会長である団体」数と団体名などを掲載しています。	

平石地区
（平石地区まちづくり協議会）

地域活性化の取組　～「平石塾」の女性活躍～

女性塾生提案の「地元食材を使用した『ジェラート』」が地区の代名詞に

平石地区まちづくり協議会では，地域学講座を発展させた「平石塾」を立ち上げ，平石地区の魅力や特性，資源を活用した催事等の企画・運営を行っています。

塾生２１名のうち女性は９名（副塾長１名，塾生８名）で構成されており，地域の女性活動者向けに開催した「女性指導者研修」を受講した女性も，「平石塾」で活躍しています。

平石地区では，女性塾生からの提案により実現した，地元食材（梨，苺，ブルーベリー）を使用し，地元企業とのコラボで完成した「ジェラート」は地域の代名詞になっています。

まちづくり協議会「郷土の料理～レシピ集～」を発行し大好評

また，令和５年度には，まちづくり協議会において，平石地区の家庭料理などを，次世代に伝え残していくとの思いを込め，鮎こくなど４４品目を掲載した「郷土の料理～レシピ集～」を発行し，各種地域団体や地元小中学校へ配布しました。

レシピ集の作成にあたっては，「平石塾」や，見守り活動対象の高齢者向けに弁当を作って届ける活動を行う「ねっこの会」「みどり会」などの女性２３名以上が携わり，創意工夫や試行錯誤を重ね，５年の歳月を経て完成しました。

また，このレシピ集を活用した料理教室を開催し，参加者から好評を得るなど，女性ならではの発案・リーダーシップを発揮し，地域の活性化に大変貢献しています。

清原地区
（清原地域振興協議会）

まちづくりのために女性や幅広い年代の人材を取り入れる！

組織全体で「若者や女性の視点を取り入れる」意識から

事務局に女性を登用

清原地域振興協議会（まちづくり協議会）の役員は，ほとんどが男性でした。

こうした中，協議会では，これからのまちづくりを進めていくためには，女性・若者の意見やパワーが必要不可欠であることから，まずは女性役員を増やし，幅広い人材に活躍してもらう場・機会を設けたいとの意見がありました。

令和６年度の役員改選で，事務局次長（役員の中でも実際の活動をメインで行う職）に女性２名を新たに登用しました。

女性が入ったことで事務局会議では，これまで以上に話しやすい雰囲気が作られ，忌憚のない意見交換が増えました。

若者・女性から地域観光の新たなアイデアが！！

また，清原地区は，飛山城史跡公園や清原中央公園があり，LRT の整備により来訪者の増加が見込まれることから，今後の観光振興に向け，清原地域振興協議会の「観光地域づくり特別委員会」において，外部の女性や若者の声を取り込んだ事業計画を立案するため，関係団体や地区内の高校・大学に声を掛け，参画者を募り，女性・若者が中心の「応援チーム」を設置しました。

「応援チーム」のメンバーからは，LRT 停留場から飛山城史跡公園まで徒歩 20 分の道のりを楽しめるよう，「飛山の歩き方」観光マップ作成の提案がありました。現在，「飛山の歩き方」観光マップの作成に向けて，「飛山まつり」参加者に地図の下絵に直接書き込んでもらった内容や，アンケートの回答，ＳＮＳへの投稿などの取りまとめを進めています。

「応援チーム」を設置したことで，これまでになかったアイデア・意見がありました。今後は，この体制を生かし，幅広い年代から多様な意見を取り入れた地域振興事業に繋げていきます。

横川地区
（横川地区子どもとふれあう会）

女性が中心となり地域の子ども達の健全育成に取り組む

地域の子ども達の成長を願い「横川地区子どもとふれあう会」を創設

横川地区においては，まちづくり協議会の構成団体である「横川地区こどもとふれあう会」が，青少年の健全育成や子どもの居場所づくりに取り組んでいます。

「横川地区こどもとふれあう会」は，平成１２年に創設され，子ども達が仲間づくりを通して社会性を育みながら成長してほしいとの願いのもと，同会の女性会長をはじめ１４名の会員が活動しています。

活動内容は，横川中学校の生徒や地域住民等による江川河川敷へのコスモスの花苗定植等の環境美化活動のほか，地域の公民館において定期的に開設する「下栗寺子屋」での，工作や卓球などの遊びの提供，季節の行事の「しめ飾りづくり」,「もちつき大会」などです。

地域の輪を大切にし，地域全体で子どもを守り育てる

同会の会長は，河川愛護や防犯活動など様々なまちづくりに取り組んでおり，様々な人への目配り・気配りを忘れず，地域の輪を大切にしながら活動しています。

また，活動で得た人との接点をその場で終わらせず，つながりを持ち続けることを心がけて活動しています。

同会の継続した取り組みが，地域全体で子どもを守り育てるという意識や環境づくりにつながっています。

瑞穂野地区
（生涯学習センタークラブ友の会）

女性が活動するサークル団体が積極的に地域活動に参画！

サークル同士の連携と親睦を深める「生涯学習センタークラブ友の会」

「生涯学習センタークラブ友の会」は，センター利用団体の生涯学習と親睦を目的に平成１４年に創設され，現在，瑞穂野地区を拠点として活発に活動するサークル７団体で構成されている地域団体であり，女性が会長を務めています。

「友の会」の会長は，単なるサークル活動を行うだけではなく，サークル同士のネットワークづくりを行っていることから，瑞穂野地区まちづくり協議会の組織の一員となって地域のまちづくりに貢献しています。

みずほのフェスティバルも講座も！地域活性化に取り組む女性会長

「友の会」の会長は，お菓子作りのサークルを主宰しており，地域最大のイベントである「みずほのフェスティバル」に毎年出店し，大好評のカップチョコバナナを提供するなど，フェスティバルを盛り上げるとともに，フェスティバルの作品展示部門の班長を務めるなど，地域活動に積極的に関わっています。

また，令和６年４月から地域住民の交流の場である「ふれあいいきいきサロン」を開設し，活発に活動しています。

更には，生涯学習センター講座において，瑞穂野産の食材を使ったお菓子作り講座で講師を務めるほか，「女性のための大人の学び講座」の参加を友の会メンバーに積極的に声掛けを行うなど，地域活性化と新たに地域活動へ参画する人材の発掘に貢献しています。

城山地区
（城山地区連合自治会）

女性の意見をまちづくりに取り入れるため「まちづくり女子会“城山ティーパーティー”」を開催

自治会長会議に女性が一人になったことがきっかけ

城山地区連合自治会は２５の自治会で構成され，毎月自治会長会議を開催しています。

令和５年度は自治会長代理も含め出席者のうち５名が女性でしたが，令和６年度の自治会長の交代で女性の出席者が１名となってしまいました。

これをきっかけに，もっと女性の参画が必要ではないかとの意見があり，自治会をはじめとした地域活動の課題解決に女性の意見をより多く取り入れるため，福祉協力員や民生委員・児童委員など地域活動に携わる女性による懇談会「まちづくり女子会“城山ティーパーティー”」を連合自治会が主催で開催しました。

女子会では，まちづくりについて活発な意見が出されました

女子会では，宇都宮大学の川面充子特任助教を講師に招き，地域に求められるリーダー像などの講話を聞いたほか，日頃の地域活動について活発に意見が交わされ，参加者からは「今後もこうした会を実施してほしい」などの前向きな意見がありました。

開催にあたっては，各自治会にイベントの趣旨を説明した上で，参加者を推薦してもらったことから，地域活動の課題解決に「女性の意見を取り入れることの必要性」を地域全体で共通認識することができました。

防災会で男性役員から「女性の視点を取り入れよう」との意見が

その結果，防災会の会議の中で，男性役員から，「防災に女性の視点を取り入れたほうがよい」とこれまでになかった意見があり，生理用品の備蓄に取り組むことになりました。

今後は，女性や若者にどのように防災活動に参画してもらうかなど，検討していきます。

国本地区
（国本地区社会福祉協議会）

デジタル活用で文書発送の手間・経費削減につながる
～女性会長の課題認識がきっかけ～

紙文書での開催通知に手間と経費がかかることが課題

国本地区社会福祉協議会では，女性２７名を含む５７名の社会福祉協力員によるひとり暮らし高齢者の見守り活動のほか，地区敬老会の実施などに取り組んでいます。

同協議会では，福祉協力員へ会議の通知を紙で郵送しており，会長は時間も経費もかかることを課題として考えていました。

『宇都宮市地域活動団体デジタル活用補助金』を研修会に活用

そのような中，令和６年度に国本地区で実施している「宇都宮市地域活動団体デジタル活用補助金」を活用した取り組みに呼応し，同協議会では LINE を使った連絡手段の導入に向け，まずは福祉協力員を対象とした「LINE の使い方研修会」を実施することとしました。

国本中学校の学生ボランティアグループが LINE の使い方を伝授

研修は，「市デジタル活用アドバイザー」が講師として LINE の友達登録やグループ作成などの支援を行いました。

参加者の中には，スマートフォンの操作に不慣れな方もいるため，より丁寧なサポートが必要であることが想定されたため，スマートフォンの操作にも慣れていて，地域の様々な活動にボランティアとして参加している国本中学校生徒のボランティアグループ「ＫＬＣ（国本リーダースクラブ）」に研修のサポーターとして協力をしてもらいました。

文書発送の手間，経費の削減につながる！新たな連絡手段の構築

研修会を開催した結果として，スマホの操作が不慣れで苦戦している参加者もいましたが，ＫＬＣによる丁寧なサポートの甲斐もあり，ほぼ全員が LINE アプリを使って，会長と連絡ができる状態になりました。

会長は「次年度に福祉協力員のグループ LINE を導入していきたい。」と話し，デジタル活用により地域の課題解決につながることが期待できます。

富屋地区
（と･くじら♡らぶ）

生涯学習講座から女性団体が誕生「と･くじら♡らぶ」！

女性がいきいきと活躍することを目的に開催した「とみや女性学」

富屋地区では，女性が自分の能力を発揮して生き生きと活躍するため，知識を学び，ともに地域で活動するための仲間やネットワークを広げる生涯学習講座「とみや女性学」を開催してきました。

「とみや女性学」は，毎年６月～８月に全３回行い，令和６年度は，「おうちでできるストレッチ」，「黄ぶな張り子」，「今日から実践“３Ｒでエコライフ”」とバラエティに富んだ内容で実施しました。

「地域で気軽に話すことができる」女性のネットワークづくりに寄与

その「とみや女性学」の参加者が中心となり，講座で学んだノウハウを生かし，女性の視点からまちづくりを盛り上げていくことを目的に平成 28 年に「と・くじら♡らぶ」が誕生しました。

「と・くじら♡らぶ」では，「とみやふるさとまつり」において「と・くじらｃａｆｅ」を開催し，地域の皆さんにも知ってもらっている団体です。

市民センターや徳次郎石の蔵を改装したスペースなどで定例会を開催し，地区内にみんなが集まることができる居場所づくり「気軽に話すことができる居場所」として地域の女性が集まるネットワークづくりにつながっています。

また，富屋小地域協議会学校環境美化部会で実施する花壇整備や学習ボランティアへの協力など，富屋生涯学習センター主催の「とみや女性学」講座で学んだノウハウを生かし，女性の視点からまちづくりを盛り上げていくために富屋地区内の新たなみんなが集える居場所づくりを目指し活動しています。

豊郷地区
（NPO 法人うつのみやオリーブ）

地域の課題解決に向けて，NPO法人の女性理事長が活躍！

女性スタッフの子育て経験が地区の課題を解決「うつのみやオリーブ」

豊郷地区では，様々な活動主体が連携しながら，活力ある地域づくりを進めています。

豊郷地区にある「うつのみやオリーブ」は，地域に密着した特定非営利活動法人として，地区内の有志により，令和２年に設立された団体です。地域にある様々な社会的課題について，地域住民の皆さんと一緒に解決を図っていくというビジョンのもと，女性理事長を中心に，多くの女性スタッフが活躍しています。

具体的な事業としては，地区の小学校に設置されている「子どもの家」の受託運営のほか，自治会と連携した公民館における「親と子どもの居場所」の運営，家庭で余っている食品などを集め弁当を作る「フードドライブ事業」の実施，農産物直売所「とよさとマルシェ」の販売業務の受託などに取り組んでおり，女性スタッフの子育ての経験などが活かされています。

世代を超えた住民交流が地域活性化とネットワークづくりを促進

これらの取組により，放課後の児童の安全・安心な場の提供や親の子育て負担の軽減，食の支援やフードロスの削減が図られるだけなく，様々な世代の住民同士の交流やつながりが生まれ，地域の活性化やネットワークづくりにつながっています。

篠井地区
（こすもす会）

地域の福祉団体と連携しながら，お弁当を届けて
一人暮らしの高齢者の暮らしを守ります！

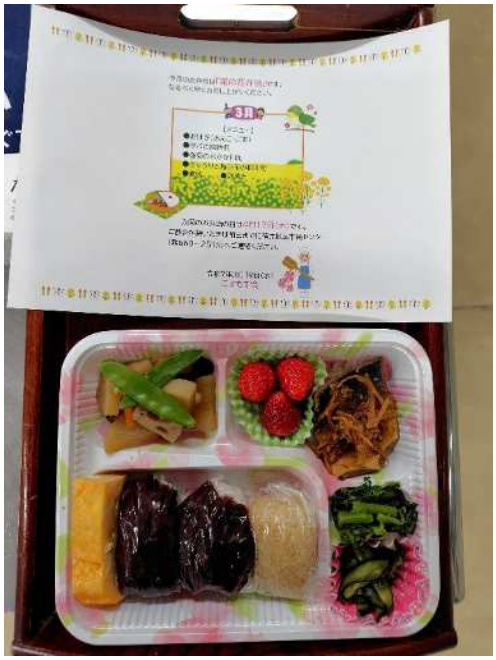
各家庭から持ち寄った米や野菜を使ったお弁当をお届け

篠井地区の「こすもす会」は，毎月第３木曜日に季節のお弁当を手作りし，地区内の一人暮らしの高齢者の方に届ける活動を行っています。

同会は，各家庭から米や野菜などを持ち寄り，地場産の食材を使うことを基本としてお弁当作りを行っており，３０年以上活動を続けています。現在は，お料理が大好きな６０代から８０代の１２名の女性会員が活動しています。

季節を感じるお弁当と見守り活動で高齢者を支援

高齢者の方に，季節感を楽しんでもらおうと，お弁当には，「菜の花弁当」や「あじさい弁当」など月ごとに名前をつけ，包み紙に，メニューと食材を記載して届けています。また，明るい色のお揃いのエプロンで訪問し，お弁当を届けながら，体調や生活状況を聞き取り，地区社会福祉協議会や民生委員・児童委員等と情報共有することで，一人暮らしの高齢者の方が，地域で安全・安心に暮らせる状況を支えています。



姿川地区
（姿川地区まちづくり協議会）

女性リーダーが大学生と地域をつなぎ，地区の魅力を掘り起こし！

大学生とともに地域資源を活用したまちづくりに取り組む

姿川地区まちづくり協議会では，魅力ある地域資源を活用したまちづくりを進めています。宇都宮大学の学生とともに，歴史的文化施設や飲食店へのインタビュー，さらには姿川地区の知名度調査などを行い，まちあるきマップを作成しています。

このプロジェクトのメンバーは，まちづくり協議会役員や宇都宮大学の学生のほか，女性防火クラブ会長や公募委員等の１７名で構成されており，そのうち４名が女性メンバーです。

女性リーダーのコミュニケーション力が世代を超えて意見がだしやすい環境を実現

はじめは，参加メンバーの年代が離れていることからコミュニケーションに不安がありましたが，サブリーダーである女性防火クラブ会長を中心に，女性メンバーが積極的にコミュニケーションをとることで，大学生が意見を出しやすい環境が作られました。

また，サブリーダーの女性が持つ様々な人とのつながりや地域情報の提供により，円滑にプロジェクトを進めることができました。

今後は， SNS を活用した魅力ある地域資源の情報発信などに新たに取り組んでいく予定です。

【打合会】

【まちあるき（うつのみや遺跡の広場）の様子】

雀宮地区
（NPO 法人雀宮まちづくりプロジェクト）

「子ども食堂」は親子の居場所だけでなく，女性が参加しやすいネットワークづくりに！

地域の子ども達を支える「こどもてらす」の取り組み

雀宮駅前にある「こどもてらす」は，特定非営利活動法人である「雀宮まちづくりプロジェクト」が運営するこども食堂で，地域の子ども達が生き生きと過ごせるよう，食事の提供のほか，工作などの体験活動を行う地域の子ども達の居場所になっています。

スタッフボランティア１５名のうち７名が女性で，子ども達に人気の「おにぎり」などを提供する食事担当のほか，クリスマス会などのイベントの企画・運営担当がいます。

助け合い精神のもと地域活動と家庭との両立を図る女性スタッフ

子どもとのふれあいや「しかる・ほめる」などの関わりの中で，「子どもに不安がないか」の観察や「子どもへの細かい気配り」に女性の感性はとても役に立っています。

また，女性スタッフボランティアの方が，自らの経験も踏まえて，子どもや親からの相談に応じることもあります。

女性スタッフボランティアの方は，家庭との両立で従事できないこともありますが，スタッフ間でシフトを調整するなど助け合い精神を心がけ，継続的に活動しやすい環境づくりに取り組んでいます。

「様々な悩みなどを気軽に相談できる居場所」

「こどもてらす」は，「子ども達が，年齢の枠を超え，お互いに学びを得て，社会性や協調性，優しさ，思いやりを育む」場所であるとともに，スタッフボランティアも含めて「様々な悩みなどを気軽に相談できる居場所」になっています。

「こどもてらす」は，社会とつながりのある小さなコミュニティとして，多くの人々が訪れ，人と地域が共に成長できるネットワークになっています。

上河内地区
（上河内健康づくり推進協議会）

女性のアイデアで地域の特産品「ゆず」を使って魅力発信！

ゆずを活用した「梵天汁」を地域イベントで振る舞う

上河内地区の健康づくり推進協議会では，地区内の女性が中心となって，「栄養・運動・休養」のバランスのとれた生活習慣を自ら実践するとともに，健康づくりの輪を地域に広める活動に取り組んでいます。

上河内地区では，古くから地域の特産品である「ゆず」を活用した食文化が各家庭で根付いています。

郷土料理として，スライスしたゆずやゆず胡椒を薬味として味わう「梵天汁」があり，同協議会では，地区内で開催される祭りや健康づくりのイベント等において参加者に振る舞い好評を得ています。

「梵天汁」のレシピをＷＥＢ配信し，地区内外へ地域の魅力を発信！

「梵天汁」の名付け親は同協議会。レシピの WEB 配信も行い，地区内外に広く地域の魅力を発信しています。

また，そのレシピを記録し，地区内の小中学校に提供することで，子ども達の郷土愛の醸成に寄与しています。

アイデアの源は女性が中心の健康づくり推進協議会

アイデアの源は，さまざまな取組をしている協議会ですが，同協議会の中で，新たなアイデアを提案しやすい雰囲気があるところにあります。

今後もどんなアイデアが生まれるのか楽しみな団体です。

河内地区
（河内地区まちづくり協議会）

まちづくり協議会の女性副会長が立ち上げた「学生ボランティア」が地域で活躍！

PTA 役員や魅力協での経験から「学生ボランティア」を立ち上げる

河内地区では，以前から，まちづくり協議会（まち協）が主催するイベントにおいて，前日準備や当日の手伝いに中学生のボランティアが活動していました。

そのような中，まち協企画広報部の女性スタッフが，イベントの企画段階から関わるなど，学生たちの意欲を一層大切にしたボランティア活動ができるよう，令和５年に「学生ボランティア」を立ち上げました。

立ち上げにあたっては，まち協の副会長であり企画広報部のスタッフである女性が中心となり，ＰＴＡ役員や「魅力ある学校づくり協議会」（魅力協）での活動経験や学校とのつながりを活かして，「学生ボランティア」のしくみをつくりました。

110 名在籍する「学生ボランティア」が地域のイベントに大活躍！

「学生ボランティア」は，河内地区の各中学校とその卒業生を中心に構成されており，現在，１１０名が在籍しています。「学生ボランティア」の皆さんの発案で，地区内公園の清掃活動や，地域伝承活動として「ごぼう汁」作り体験会を行うなど，地区内の各種イベントのほか，生涯学習センター講座などの企画・運営に携わりながら，地域の皆さんと一緒に地域を盛り上げるため活動しています。

進学後も「楽しかった河内の思い出」をつくるために活動を継続

まち協企画広報部の女性スタッフの皆さんは，学校では得ることのできない貴重な体験を通じて，参加した学生達が，県外に進学しても地元に帰ってきてくれるような「楽しかった河内の思い出」をつくることができるよう，活動のサポートを続けています。

西地区

西地区連合自治会
西地区民生委員児童委員協議会
西地区社会福祉協議会

女性会長の働きかけで災害時の共助力がアップ！

「災害時要援護者支援制度」の台帳更新が課題

西地区では，各分野の団体が連携・協力しながら，安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。

災害発生時の支援活動の一つとして「災害時要援護者支援制度」がありますが，西地区においては，要援護者として登録された方の台帳情報の更新が課題となっていました。台帳が最新状態になっていない場合，集中豪雨や地震などの災害時に，高齢者や障がい者など避難に支援が必要な方に，共助の手が届かないおそれがあるからです。

女性会長のリーダーシップで台帳更新を実現

その状況に危機感を抱いた民生委員・児童委員協議会の女性会長が率先して働きかけ，連合自治会，社会福祉協議会と情報交換を行い，自治会長と民生委員・児童委員が連携し，令和６年に台帳の更新作業が完了しました。

女性会長が主体的に動き，関係者と危機感を共有したことで，課題だった台帳が更新され，地域の共助の実行力が高まりました。

陽東地区
（東峰西自治会）

まちづくり論を学んだ女性の提案から空き家が公民館に
～公民館「とみくら　みんなのリビング」～

自治会区内に集会所がないという課題が

陽東地区にある東峰西自治会は、84 世帯のうち 69 人が後期高齢者で、地域コミュニティセンターまでは歩くには遠く，自治会区域内に地域の人が集まる場所がないことが地域の課題でした。

女性会長の人とのつながりから自治会へ空き家活用の提案

当時（2017 年），女性同士のネットワークづくりをしている「はなの会」の会長を務めていた女性は，社会福祉協議会からの相談により自身が所有していた空き家を社協のサロンの会場として提供していました。

女性会長は，以前から宇都宮大学「ＵＵカレッジ」を受講し，「まちづくり論」を学んでいたことから，自身の所有する空き家を自治会の集会所として活用できないかと考え，自治会長に相談しました。

自治会長は，集会所がないことの課題を認識していたため，その後，自治会の中で，空き家を活用した公民館を作る話が持ち上がりました。

結果として宇都宮大学、自治会、市生活安心課が連携し，空き家をリノベーションする計画を立てました。公民館は，学生がデザインし，地域，大学，行政の三者が協力して完成しました。

完成した公民館では，定期的に講座を開催するだけでなく，日常的に地域住民が集まる場所となり，地域交流の深まりから住民のつながりも強まっています。

地域活動の原点は，様々な特性の人々が一緒に取り組むこと

女性会長は「一つの目的を持ち，地域だけでなく，学生や企業，行政など様々な特性を持った人々が集まり，取り組んだことが大変やりがいがあり，楽しい経験になった。これこそが地域活動の原点だと感じています。」と話しています。

※今回ご紹介した公民館は，老朽化により取り壊され，別の場所に移転しました。

明保地区
（こども食堂　キッチンもぐもぐ）

地域における居場所づくり　～こども食堂　キッチンもぐもぐ～

建築士事務所の敷地内にみんなが集える「子ども食堂」を開設！

明保地区においては，まちづくり協議会の構成団体である「雨情女性クラブ」の会長であり，建築士事務所を経営する女性が，令和２年７月に子ども食堂を開設し，食事の提供や季節の行事を通じて地域の子ども達とその家族を支援しています。地域のボランティア８名の協力を得て，子ども達が誰かと一緒に食事を楽しんだり，母親同士などが交流できる居場所を提供しています。

活動内容としては，毎週１回，地域のボランティアメンバーとメニューを考案・調理し，栄養バランスのとれたボリューム満点のおいしい食事を提供しているほか，季節の行事として，花火大会やクリスマス会などのイベントを企画し，普段利用している子ども達だけでなく，地域の子どものグループや家族連れ，中・高校生なども参加し交流を深めています。

女性ボランティアの活動で地域の様々な人が気軽に集まる場所になる

今年で５年目を迎える活動を継続することができたのは，運営者の熱意とともに，子ども食堂開設以前からの長年に渡る地域活動で築いた地域の人々とのつながりを大切にしてきたことにより，地域からさまざまな協力を得られたためです。

地域のボランティアの方々も，活動にやりがいを感じ，自身の得意料理をメニューとして提案するなど日頃から熱心に参加しています。

女性達の活動が，子ども達をはじめ地域のさまざまな人が気軽に集まり交流できる機会の充実につながっています。

陽光地区
（陽光地区まちづくり推進協議会）

地域ビジョン策定には「男女双方の意見が必要」！

「地域ビジョン」策定委員には，多くの女性が参画！

陽光地区は，「地域の活性化を図るためには女性の意見が必要である」との考えのもと，地域の会議や活動において，多くの女性が参画し意見を出し，その意見や考えを地域活動の企画や運営等に取り入れています。その代表的なものとして，「地域ビジョン策定」があげられます。

地域ビジョンは，地域団体や地域住民が将来の地域の目指すべき姿をデザインし，具体的な行動内容をまとめたものであり，地域のまちづくりにとって非常に重要な計画です。

女性委員の提案から「マークデザイン」，「標語」が作成される

平成２９年度に策定した陽光地区地域ビジョンは，策定までの４年間に，グループワークや各種会議において，多くの女性（PTA や民生委員児童委員など多くの団体）が委員として策定に参画し，積極的に述べた意見や考えが反映されています。

地域が目指す将来像をわかりやすく端的にあらわした「標語（キャッチフレーズ）」や，地域の象徴を表現した「マークデザイン」は，女性の意見を受けて作成したものです。

今後も，陽光地区まちづくり推進協議会では，地域の活性化を図るため，女性が意見を出しやすい環境づくり，地域活動への参画促進，女性リーダーの育成に取り組んでいきます。

YÔKÔ

【目指す陽光像（ビジョン）】
“みんな　笑顔　かがやく　陽光”

戸祭地区
（戸祭地区女性防火クラブ）

地域活動に新たな風を吹き込む
仕事と家庭＋地域活動の両立に取り組む女性会長

女性防火クラブ「LINE」活用による効率化と経費削減につながる

女性防火クラブは，「家庭の防火」を目的として昭和３９年（１９６４年）ごろから全国各地に設置されています。

戸祭地区の活動としては，地域の防災訓練に参加するほか，地域イベントに参加し，防災の啓発活動に取り組んでいます。

そのような中，女性防火クラブ会長は，会議開催の通知のほか，イベント参加の案内など団体向けに周知するために，電話での連絡や紙文書を発送する手間と郵送料の経費がかかることが課題と感じていました。

会長は，自分自身が「ＬＩＮＥ」を利用していることから団員に自ら使い方などを伝授し，団体への連絡をＬＩＮＥで行うことにしました。

結果として，会議の開催通知はもちろん，イベントの参加依頼や緊急連絡なども迅速に行うことができ，団体の連絡周知にかかる時間と経費の削減につながっています。

きっかけは，仕事と家庭を両立する中で取り組む地域活動

また，女性会長は，自ら防災講座に参加し，これまでなかった防災グッズ（簡易テントなど）を導入するなど，常にアンテナを高くし，積極的に新しい情報を取り入れて積極的に活動しています。

女性防火クラブ会長は，仕事と家庭を両立する中で地域活動を行っています。そのため，地域活動は活動できる範囲で取り組むことを心がけ，常に新しいことを取り入れて活動を工夫されています。

資料編

令和６年度調査					
地区	人口（人）	女性の人数	うち女性割合（%）	女性自治会長の人数	地域まちづくり組織の構成団体中「女性が会長である団体」数と団体名
平石	5,686	2,752	48.4%	２１自治会中０人	平石地区まちづくり協議会２３構成団体中４団体 ・婦人防火クラブ ・ねっこの会 ・健康づくり推進協議会 ・平石北小学校地域協議会
清原	31,188	14,683	47.1%	２２自治会中０人	清原地域振興協議会３７構成団体中８団体 ・清原地区女性防火クラブ ・宇都宮市清原地区社会福祉協議会 ・清原地区民生委員・児童委員協議会 ・清原地区福祉協力員連絡会 ・清原地区国際交流会 ・宇都宮保護区保護司会清原班 ・清原地区子ども会育成会連絡協議会 ・清原地区健康づくりを推進する会
横川	32,354	15,864	49.0%	２９自治会中０人	横川地区まちづくり協議会１６構成団体中３団体 ・健康づくり推進連絡協議会 ・女性防火クラブ ・JAみどり会
瑞穂野	10,075	5,076	50.4%	１３自治会中１人	瑞穂野地区まちづくり協議会４８構成団体中５団体 ・婦人会 ・婦人防火クラブ ・女性ドライバークラブ ・生涯学習センタークラブ友の会 ・健康づくり推進協議会
城山	15,510	7,846	50.6%	２５自治会中１人	城山地区コミュニティ協議会２４構成団体中３団体 ・婦人防火クラブ ・食生活改善推進員協議会 ・みどり会

令和６年度調査					
地区	人口（人）	女性の人数	うち女性割合（%）	女性自治会長の人数	地域まちづくり組織の構成団体中「女性が会長である団体」数と団体名
国本	14,601	7,356	50.4%	２８自治会中１人	国本地区づくり振興会１７構成団体中４団体 ・社会福祉協議会 ・婦人防火クラブ ・民生委員児童委員協議会 ・食生活改善推進員協議会
富屋	3,670	1,948	53.1%	１３自治会中１人	富屋地区まちづくり連絡協議会４６構成団体中１０団体 ・山王団地自治会 ・婦人会 ・農協みどり会 ・くるみ会 ・食生活改善推進員協議会 ・健康づくり連絡協議会 ・女性防火クラブ ・山王認定こども園 ・徳次郎保育園 ・富屋特別支援学校
豊郷	33,062	16,615	50.3%	４１自治会中０人	豊郷地区豊かな郷づくり推進協議会２７構成団体中７団体 ・婦人会 ・交通安全母の会 ・女性防火クラブ ・健康づくり推進委員会 ・食生活改善推進団体連絡協議会 ・宇都宮農業協同組合女性組織みどり会 ・地域包括支援センター豊郷
篠井	2,343	1,175	50.1%	１８自治会中０人	篠井地区ゆたかなまちづくり協議会１８構成団体中４団体 ・婦人防火クラブ ・民生児童委員協議会 ・婦人徳重会 ・こすもす会

令和６年度調査					
地区	人口（人）	女性の人数	うち女性割合（%）	女性自治会長の人数	地域まちづくり組織の構成団体中「女性が会長である団体」数と団体名
姿川	39,747	20,135	50.7%	４８自治会中３人	姿川地区まちづくり協議会５１構成団体中 １１団体 ・婦人防火クラブ ・姿川南部地域包括支援センター ・地域包括支援センター砥上 ・民生委員・児童委員協議会 ・南交通安全協会女性部姿川支部 ・交通安全母の会 ・交通指導員 ・健康づくり推進委員会 ・姿川中学校ＰＴＡ ・姿川中央小学校ＰＴＡ ・姿川地区歴史と文化の会
雀宮	33,567	16,736	49.9%	４３自治会中４人	雀宮地区まちづくり推進協議会２４構成団体中 4団体 ・民生委員児童委員協議会 ・ＶＧすずめ ・女性防火クラブ ・青少年巡回指導員
上河内	9,501	4,729	49.8%	２７自治会中０人	上河内地区まちづくり協議会２６構成団体中 ５団体 ・上河内地区婦人防火クラブ ・上河内地区子ども会育成会連絡協議会 ・宇都宮市農村生活研究グループ上河内支部 ・上河内くらしの相談員連絡会 ・上河内地区健康づくり推進協議会
河内	34,705	17,395	50.1%	５１自治会中５人	河内地区まちづくり協議会３４構成団体中 ９団体 ・交通安全母の会 ・赤十字奉仕団河内分団 ・女性防火クラブ ・食生活改善推進協議会 ・かわち消費者友の会 ・更生保護女性会 ・青少年育成協議会 ・栃木県立岡本特別支援学校 ・農村生活研究グループ協議会

令和６年度調査						
地区		人口（人）	女性の人数	うち女性割合（%）	女性自治会長の人数	地域まちづくり組織の構成団体中「女性が会長である団体」数と団体名
中央	昭和	7,173	3,719	51.8%	１７自治会中１人	昭和地域まちづくり推進協議会２０構成団体中１団体 ・昭和地区婦人防火クラブ
	中央	5,052	2,504	49.6%	２６自治会中２人	中央地域まちづくり推進協議会４７構成団体中５団体 ・中央地区民生委員児童委員協議会 ・中央地区女性防火クラブ ・剣宮自治会 ・中央２中部自治会 ・中央地区老人クラブ連絡協議会
	西	5,347	2,722	50.9%	２６自治会中２人	西地区まちづくり推進協議会１４構成団体中３団体 ・西地区婦人会 ・材木町通り協和会自治会 ・西地区民生員児童委協議会
	錦	9,379	4,696	50.1%	１５自治会中１人	錦地域まちづくり協議会３８構成団体中３団体 ・錦地区女性防火クラブ ・錦地区民生委員児童委員協議会 ・今泉８丁目東自治会
	西原	5,760	2,956	51.3%	２８自治会中０人	西原地域コミュニティ協議会５１構成団体中８団体 ・西原宮っ子ステーション ・ＹＣＣサポーター ・西原地区健康づくり推進員会 ・西原小PTA ・西原地区社会福祉協議会 ・西原地区福祉協力員 ・西原地区防災ネットワーク女性部会 ・青葉学園
	東	6,206	3,155	50.8%	２５自治会中３人	東地域まちづくり推進協議会１５構成団体中５団体 ・宮町一区自治会 ・東塙田二区自治会 ・広報部会 ・福祉部会 ・東地域女性防火クラブ
	宮の原	7,823	3,858	49.3%	１６自治会中１人	宮の原地域まちづくり推進協議会３４構成団体中６団体 ・宮の原女性防火クラブ ・宮の原地区民生・児委員協議会 ・不動前３丁目睦会 ・宮の原地区健康づくり推進協議会 ・宮の原地区社会福祉協議会 ・宮の原地区防犯会
	簗瀬	11,584	5,816	50.2%	２６自治会中１人	簗瀬地域まちづくり推進協議会４８構成団体中４団体 ・文化推進協会 ・簗瀬広報部 ・簗瀬地区健康づくり推進員会 ・宿郷４丁目自治会

令和６年度調査						
地区		人口（人）	女性の人数	うち女性割合（%）	女性自治会長の人数	地域まちづくり組織の構成団体中「女性が会長である団体」数と団体名
東	石井	13,974	6,809	48.7%	２０自治会中１人	石井地区まちづくり推進協議会１８構成団体中２団体 ・石井地区婦人防火クラブ ・石井地区健康づくり推進協議会
	泉が丘	12,931	6,497	50.2%	１２自治会中０人	泉が丘地区まちづくり推進協議会２７構成団体中６団体 ・泉が丘地区健康づくり推進員会 ・泉が丘地区連合自治会女性部 ・泉が丘地区連合自治会文化部 ・泉が丘地区民生・児童委員協議会 ・泉が丘地区連合自治会環境リサイクル部 ・泉が丘地区連合自治会交通防犯部
	今泉	11,247	5,334	47.4%	5自治会中0人	今泉地区コミュニティ協議会２５構成団体中５団体 ・バンビーニゆめ ・今泉保育園 ・駅ひがし保育園 ・今泉地区民生委員・児童委員協議会 ・婦人防火クラブ
	城東	7,749	3,675	47.4%	7自治会中１人	城東地域各種団体協議会１７構成団体中３団体 ・城東地区社会福祉協議会 ・民生委員児童委員協議会長 ・県住平松本町自治会
	峰	9,515	4,588	48.2%	１０自治会中０人	峰地区まちづくり推進協議会２８構成団体中３団体 ・峰地区民生・児童委員協議会 ・峰地区婦人防火クラブ ・峰だより編集委員会
	御幸	8,255	3,981	48.2%	6自治会中２人	御幸地区コミュニティ協議会１２構成団体中５団体 ・御幸小学校ＰＴＡ会長 ・子ども会・青少年育成協議会 ・婦人防火クラブ ・民生・児童委員協議会 ・御幸町南自治会
	御幸が原	10,280	5,101	49.6%	8自治会中０人	御幸が原まちづくり協議会１４構成団体中３団体 ・婦人会 ・女性防火クラブ ・みはらスポーツ文化少年団後援会
	陽東	9,774	4,781	48.9%	１３自治会中１人	陽東地区まちづくり協議会３９構成団体中５団体 ・青少年育成会 ・子ども会連絡協議会 ・女性防火クラブ ・はなの会 ・ベルコート自治会

令和６年度調査						
地区		人口（人）	女性の人数	うち女性割合（%）	女性自治会長の人数	地域まちづくり組織の構成団体中「女性が会長である団体」数と団体名
西	桜	7,941	4,163	52.4%	２５自治会中４人	桜地域まちづくり協議会１３構成団体中３団体 ・さくら女性の会 ・桜地区体育協会 ・宇都宮市さくら防火クラブ
	富士見	14,474	7,402	51.1%	３０自治会中３人	富士見地区まちづくり推進協議会１２構成団体中３団体 ・富士見女性部すみれ会 ・富士見小PTA ・母子寡婦福祉会
	明保	4,864	2,449	50.3%	3自治会中０人	明保地区明るいまちづくり協議会２１構成団体中４団体 ・民生児童委員協議会 ・雨情女性クラブ ・婦人防火クラブ ・健康づくり推進協議会
南	五代 若松原	8,041	4,091	50.9%	7自治会中０人	五代若松原まちづくり推進協議会１９構成団体中４団体 ・女性防火部会 ・生活文化部会 ・環境部会 ・健康づくり食生活改善推進協議会
	緑が丘	9,016	4,705	52.2%	10自治会中０人	緑が丘まちづくり協議会１５構成団体中３団体 ・緑が丘地区健康づくり推進協議会 ・緑が丘地区連合自治会女性部会 ・緑が丘地区婦人防火クラブ会
	陽光	6,046	3,041	50.3%	7自治会中０人	陽光地区まちづくり推進協議会１５構成団体中６団体 ・陽光地区女性部 ・陽光地区婦人防火クラブ ・陽光地区民生委員児童委員協議会 ・陽光地区健康づくり推進協議会 ・陽光地区子ども会育成会 ・利用団体連絡協議会
	陽南	9,438	4,821	51.1%	１８自治会中２人	陽南地区まちづくり推進協議会２１構成団体中５団体 ・陽南地区健康づくり推進員会 ・宇都宮婦人防火クラブ連合会陽南地区 ・陽南地区民生委員児童委員協議会 ・陽南地区福祉協力員連絡会 ・陽南地区子ども会連合会
北	宝木	18,033	9,237	51.2%	１１自治会中０人	宝木地区まちづくり協議会１１構成団体中３団体 ・青少年育成会・子供会育成会 ・女性防火クラブ ・宝木こぶしの会
	戸祭	12,402	6,483	52.3%	１９自治会中０人	戸祭地区まちづくり協議会11構成団体中4団体 ・民生委員児童委員協議会 ・女性防火クラブ ・青少年育成会 ・安心安全部会
	細谷・上戸祭	17,191	8,806	51.2%	１５自治会中１人	細谷上戸祭地域まちづくり協議会１６構成団体中６団体 ・細谷小学校PTA ・上戸祭小学校PTA ・クローバーの会 ・女性防火クラブ ・細谷・上戸祭地域生活支援協議会 ・社会福祉協議会福祉協力員連絡会

地域における女性活躍に関連する支援等

● 地域活動における女性参画セミナー【出前講座】

▶ より一層の持続可能な地域づくりを進めるため，これまで開催してきた「地域における女性参画講座」について，令和7年度から，各地区の連合自治会等を対象に出前講座を開催します。
講座内容については，市ホームページ（男女共同参画推進センター）をご確認ください。

お問い合わせ

宇都宮市　総合政策部　女性活躍推進課
男女共同参画推進センター（アコール）
TEL：028-636-4075

市ホームページ

● 魅力ある自治会づくり支援事業補助金

▶ 地区連合自治会や単位自治会が主体となった地域課題を解決するための取組や自治会の魅力を高める取組を支援するため，宇都宮市自治会連合会を通して，活動費を補助します。
この補助金では，「地域における女性活躍」の事業も対象になります。

魅力ある自治会づくり支援事業補助金

お問い合わせ

宇都宮市　市民まちづくり部　みんなでまちづくり課
TEL：028-632-2287

● 男女共同参画推進センター（アコール）の活用

▶ 男女共同参画推進センター「アコール」では，男女共同参画推進の拠点として，「性別による固定的な役割分担の解消」や「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）の解消」などの講座や研修会の開催，活動への相談支援，団体の交流促進，情報誌の発行による情報提供や貸館業務などを行っています。
ぜひご活用ください。

お問い合わせ

宇都宮市　総合政策部　女性活躍推進課
男女共同参画推進センター（アコール）
TEL：028-636-4075

男女共同参画推進センター（アコール）

【問い合わせ先】
宇都宮市　総合政策部　女性活躍推進課　事業計画グループ
TEL:028-632-2346